



(ふいかえい)なぜ、ワークショップなどの取り組みが始まったの？

公共施設は・・・

昭和50年代に集中して建設 → 老朽化した施設が、一斉に更新時期を迎える → 更新費用の不足が見込まれる

人口や税収は・・・

人口減少、少子・超高齢化社会が到来 → 働き世代が減少し、税収増加は厳しい → 持続可能なまちを将来に引き継ぐため、財政健全化が必要

今ある施設を、今後も維持していくことは難しい・・・

この課題を解決するために

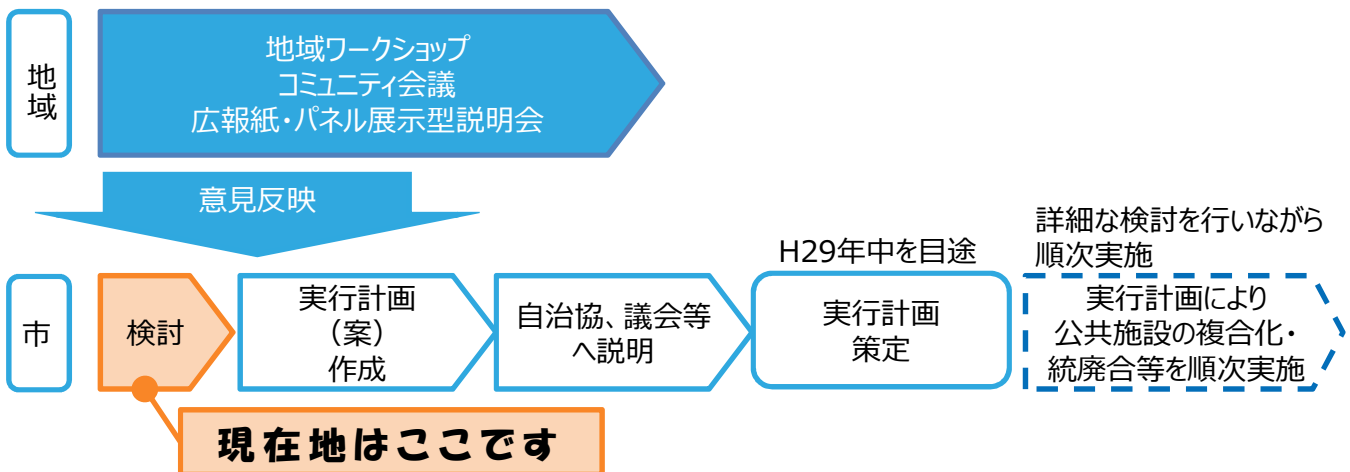
ワークショップなどの成果を検討に反映させた、「地域別実行計画」づくりが必要です！

事務事業の見直しによる歳出抑制や、税収を伸ばす取り組みの推進なども行っています

「地域別実行計画」策定までと策定後のすすめかた

市は、広く地域のみなさんに情報提供・意見聴取を行い、検討に反映させ、平成29年中を目途に「曾野木地域実行計画」を策定します。

地域別実行計画には、地域内の公共施設の再配置計画や、スケジュールなどが記載されます。計画の実施（再配置による新施設の整備など）にあたっては、適宜、地域のみなさんや施設の利用者などに意見聴取を行いながら進めていきます。



ワークショップで配布した資料や、第3回ワークショップで議論した対策案の評価の内容については、市ホームページに掲載しています。

曾野木地域のこれから

<http://www.city.niigata.lg.jp/shisei/zaisan/zaikeitorikumi/ws.html#cms82D6B>

ご意見・お問い合わせはこちらまで

地域別実行計画コミュニケーション事務局 (江南区地域課・新潟市財産活用課)

- 郵便 〒950-0195 新潟市江南区泉町3-4-5
- 電話 025-382-4619
- FAX 025-381-7090
- メール chiiki.k@city.niigata.lg.jp

みなさんのご意見をお寄せください！
江南区親善大使：十全さん(曾野木地区出身) →

新潟市財産経営NEWS 第4号

<発行者>
地域別実行計画コミュニケーション事務局 (江南区地域課：Tel.025-382-4619 市財産活用課：Tel.025-226-2387) 平成29年3月発行

対策案について検討しています！

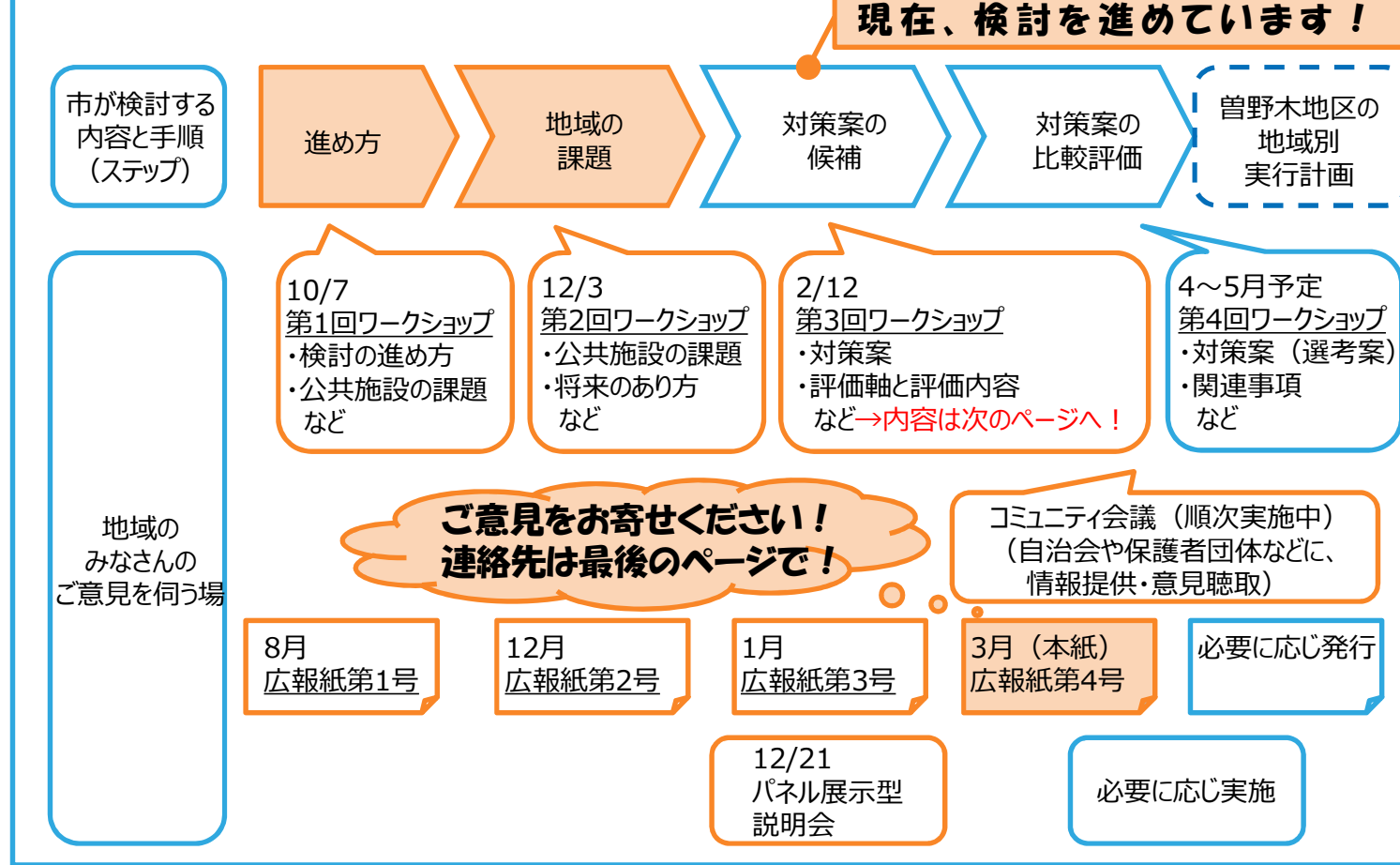
曾野木のまちづくり ~公共施設のこれから~

曾野木地域では、市営住宅跡地活用の検討や、曾野木・第二曾野木保育園の老朽化による統合の検討をきっかけとして、地域の公共施設のあり方について、地域のみなさんと市・区役所がともに考えるワークショップが開催されています。

地域のみなさんのご意見をもとに、市で検討を行い、地域の公共施設の将来のあり方を示す「地域別実行計画」が策定されますので、ぜひ紙面をご覧ください、ご意見をお寄せください！

公共施設のあり方について、検討をすすめています

市は、検討のステップ（下図の上段）に合わせ、ワークショップ・広報紙・パネル展示型説明会などの方法で、広く地域のみなさんのご意見を伺い、検討に反映させ、公共施設の将来のあり方を示す「地域別実行計画」の策定に結びつけます。



課題解決の狙いとなる「6つのポイント」を整理しました

市は、地域のみなさんのご意見をふまえ、地域の公共施設について望ましい将来の姿(課題解決の狙いとなる「6つのポイント」)を整理しました。

第3回ワークショップでは、これらのポイントを達成するための対策案*について議論しました。

- 「6つのポイント」とは？
 - ①過度な財政負担が将来世代に残らない
 - ②地域のまとまり一体感を醸成する
 - ③子育てしやすいまちをつくる
 - ④若者・高齢者・障がい者の居場所をつくる
 - ⑤地域住民が集え地域外からも人を呼び込める施設をつくる
 - ⑥アクセスしやすい公共施設配置とする
- *詳細は、次ページへ！

5つの対策案について、議論しました

第3回ワークショップでは、事務局が議論のために仮設定した5つの対策案について、長所や課題などを議論しました。また、課題解決の狙いとなる「6つのポイント」から各案を評価しました。（評価の詳細は市ホームページ参照）

※これらの案は、比較検討のためのものであり、実現を担保するものではありません。

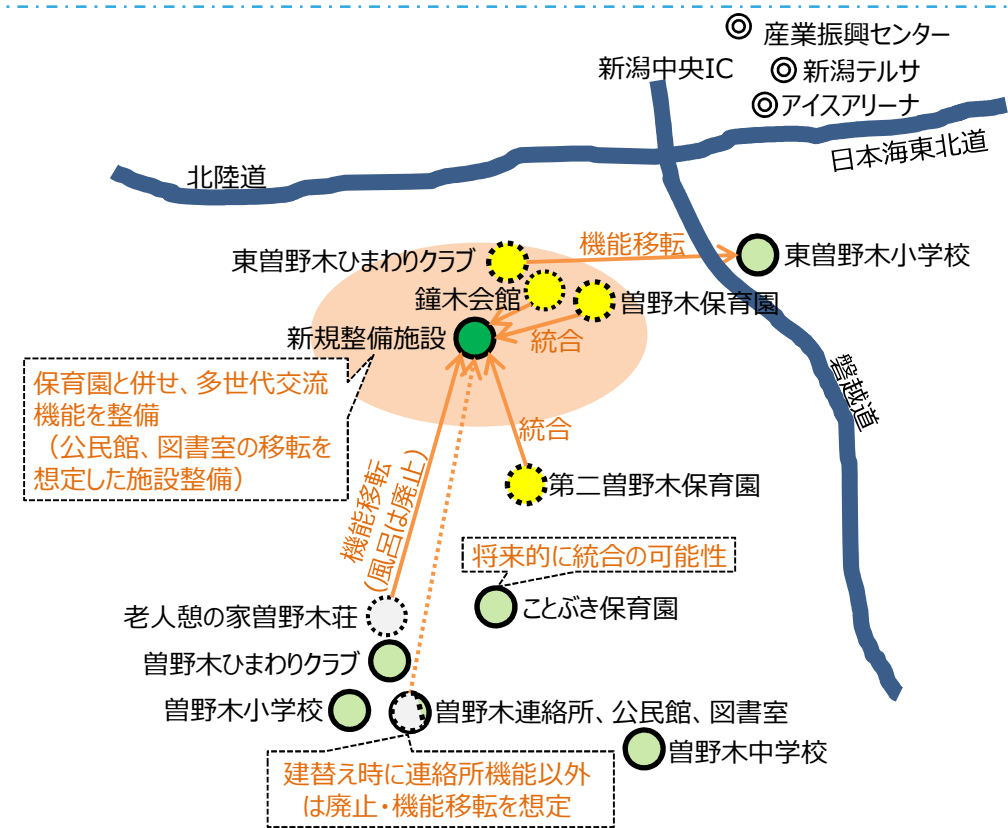
- 凡例
- 複合化・多機能化
 - 売却・貸付
 - 存続
 - 廃止・解体

これまでの議論をふまえ、次回ワークショップでは、再度対策案（修正案）を提示します。
また、対策案について「6つのポイント」から比較・検証を行います。



A 新たな拠点を整備し、地域の中心をつくる案

- 地域の拠点として、市営住宅跡地に新施設を整備
- 曾野木・第二曾野木保育園を統合し、新施設に複合化
- 公民館・図書室は、現在の施設の建替え時に新施設に機能移転
- 曾野木荘（風呂以外）・鐘木会館の機能は、新施設に移転

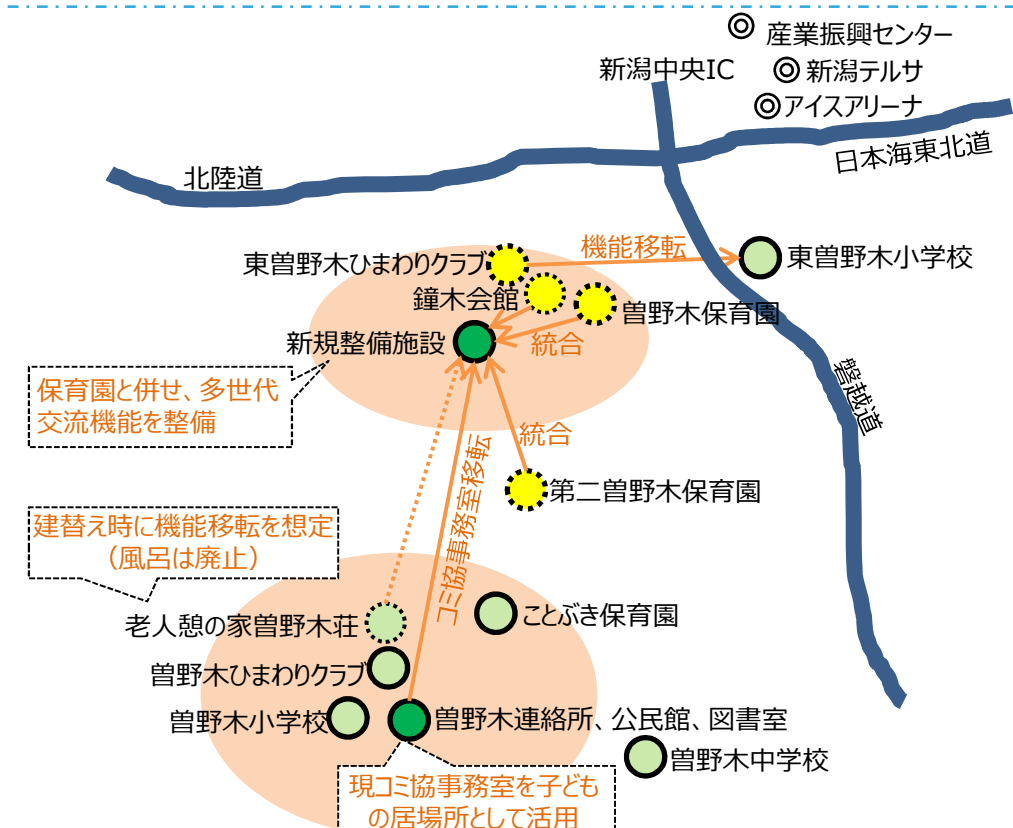


- 案の特徴**
- 市営住宅跡地を有効活用して、新たな拠点が整備され、駐車場も確保。
 - コミュニティ拠点や保育園などが複合化され、多世代交流が期待。
 - 地域外から人を呼び込める可能性。
 - 拠点が移動し活動場所が変わる。
- ：長所
◆：課題（短所）

- 議論の内容（抜粋）**
- 機能が集中した規模の大きい新規複合施設ができるので、地区のシンボルとなり、団体間の横のつながりや多世代交流が生まれることが期待できる。
 - 施設が1か所に集約されるので、アクセスしやすく他施設との連携もできる様に、公共交通や歩道を整える必要がある。
 - 公民館エリアにも子どもの居場所は必要ではないか。

B 二拠点整備案

- コミュニティ活動を行う機能の一部を市営住宅跡地に移転・拡充し、新施設を整備
- 曾野木・第二曾野木保育園を統合し、新施設に複合化
- 曾野木荘（風呂以外）は、現在の施設の建替え時に新施設に機能移転
- 鐘木会館の機能は、新施設に移転

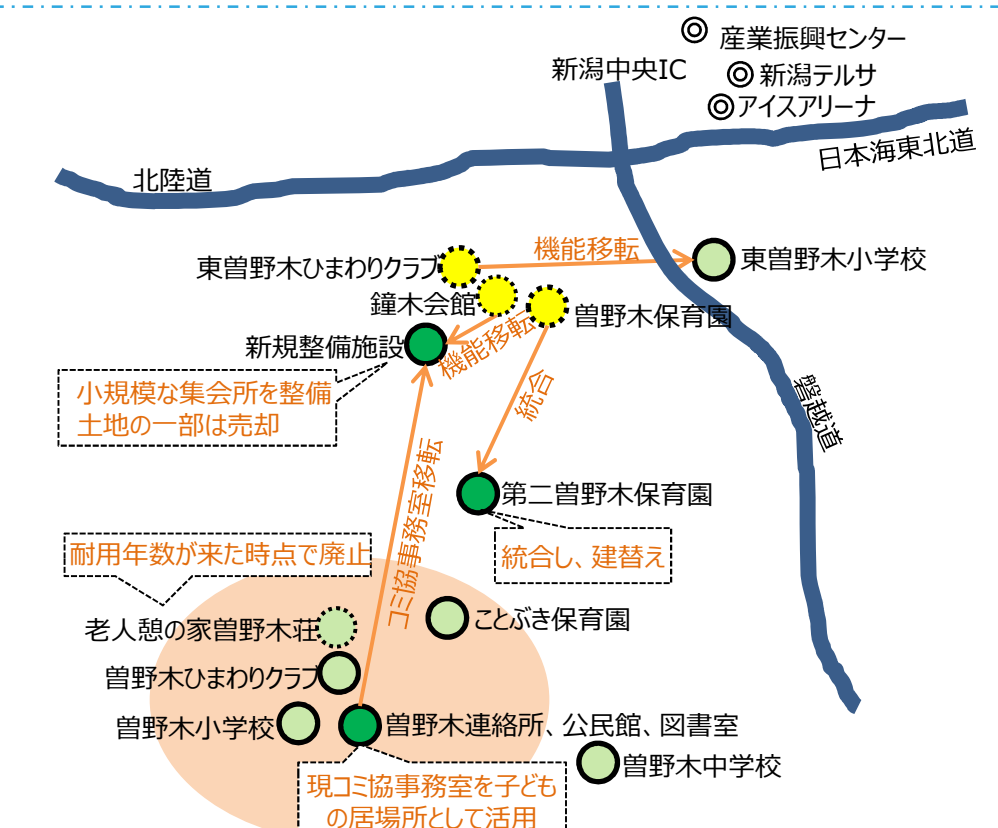


- 案の特徴**
- 市営住宅跡地を有効活用して、複合施設が整備され、駐車場も確保。
 - コミュニティ拠点や保育園などが複合化され、多世代交流が期待。
 - 公民館の一部を子どもの居場所に転用できる。
 - 拠点が分散し、身近な施設を選択して利用できる。
 - 拠点が分散し地域の一体化が図られない可能性。
- ：長所
◆：課題（短所）

- 議論の内容（抜粋）**
- 地域の一体感は住民意識の問題。拠点が2か所になっても一体感をつくる妨げにはならないだろう。小学校区をベースに2拠点を考える方が活動しやすいと思う。
 - 新規整備施設に公民館機能が一部移転することで、大人の目の届く範囲で子どもたちの遊び場が開放されるのは良いことだ。
 - 公民館周辺にも高齢者の居場所を残す必要があるのではないか。
 - 2拠点を整備するのであれば、公共交通を充実させ、歩道などの整備を。

C 従来の拠点を活かす案

- コミュニティ活動を行う機能の一部を市営住宅跡地に移転し、新施設を最小限の規模で整備
- 曾野木・第二曾野木保育園を統合し、第二曾野木保育園敷地（隣接するそのき第一公園も含む可能性）に整備
- 現在の公民館・図書室・出張所を今後も地域の拠点とする



- 案の特徴**
- 市営住宅跡地を有効活用して、コミュニティ機能が整備される。
 - 公民館の一部を子どもの居場所に転用できる。
 - 現在の各施設がほぼ維持され、これまでどおり活動できる。
 - 多世代交流が期待できない。
 - 保育園などの駐車場不足が改善されない可能性。
- ：長所
◆：課題（短所）

- 議論の内容（抜粋）**
- 曾野木保育園の駐車場問題が改善されないのは問題だ。
 - 新規整備施設に保育園が統合されないと多世代交流が促進されないの、子どもが集まれる機能が付加されると良い。
 - 老人憩の家の機能が廃止されると高齢者の居場所がなくなってしまう。他の案同様に、新規整備施設に機能移転してほしい。

D 財政的効率化案

- 曾野木・第二曾野木・ことぶき保育園を統合し、民間活力を導入して市営住宅跡地に整備
- 統合保育園以外は新たな施設整備は行わず、現状ある施設を維持
- 老人憩の家曾野木荘・鐘木会館は、建替え時期が来た時点で廃止

E 現状維持案

- 現状ある施設を、そのままの配置で今後も維持
- 市営住宅跡地に施設は整備せず、売却

※E案は、各案を比較する際の基準となる案です。

提案（抜粋）

- A案は公民館周辺の施設が足りなすぎるので、子どもの居場所となるフリースペースなど身近に必要な施設は整備してほしい。
- B案は同程度の規模で2拠点が整備されるが、地区の中心施設は必要だと思うので、新規整備施設の面積を増やし、多世代、子育て世代向けの複合施設としてA案レベルにまで充実させてほしい。
- B案の新規整備施設を増やしA案レベルにまでするとコストは増えると思うが、保育園を全て統合したり、民間運営のテナントスペースを設けることでコストは削減できるのでは。